

特集

国際物流総合展講演レポート

2008年9月9日(火)
～12日(金)
in 東京ビッグサイト

天候にも恵まれ、昨年を2万人も上回る14万人の来場者で盛況に終了。当社のブースにも多くの方にお立ち寄りいただきました。SRをご利用いただいている2社様のご講演は、「SRを導入するときの現場の状況がよくわかった」とご感想をお寄せいただけるほど好評でした。

ご講演

1. セイフティレコーダビデオで「やさしさ」を追求・・・～荷主様・車輦・従業員・会社・環境への配慮～
太陽運輸倉庫株式会社 殿 P1-2
2. SR(セイフティレコーダ)で安全マネジメントとエコドライブ推進
東京空港交通株式会社 殿 P3-4

特集1

セイフティレコーダビデオで「やさしさ」を追求・・・ ～荷主様・車輦・従業員・会社・環境への配慮～

太陽運輸倉庫株式会社

総務部総務課 情報システム 永池 伸博 様



太陽運輸倉庫株式会社

会社名：太陽運輸倉庫株式会社
本社所在地：鹿児島市西別府町2941-14 鹿児島流通団地内
TEL：099-281-1000 FAX：099-281-7900
営業拠点：鹿児島支店・福岡支店・鳥栖物流センター・宮崎営業所・吉田営業所・東京営業所
設立：昭和43年7月1日
代表者：代表取締役 重久 紘三
従業員数：189名（2008年1月1日現在）
事業内容：運送業・コンビニエンス（2店舗運営）
車輦台数：159台（2008年1月1日現在）
SR導入：2005年2月 SRVideo 50台
10月 SRVideo 115台 合計165台

品質・環境・安全の3つを活動方針の中心に据えて、この精神を忘れずに取り組んでいます。品質については「ISO9001」、環境は「グリーン経営」、安全は「安全性優良事業所」を取得し、新たなサービスを付加できるよう、日々努力しています。本年は、創業40周年を迎えることができました。めざしている「トータル ロジスティックス ソリューション企業」にむけて、情熱と誠意をもって、お客様にご提案をしていきます。

会社概要



【シンボルマーク解説】

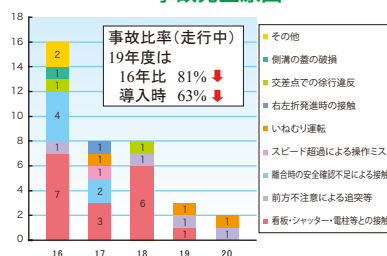
社名の「太陽」を円でデザイン化。モットーである「安全(Safety)」「迅速(Speedy)」「確実(Stability)」の頭文字「S」を物流の流れを示すストライプで表現しています。

セイフティレコーダ(SR)導入で、安全意識が向上

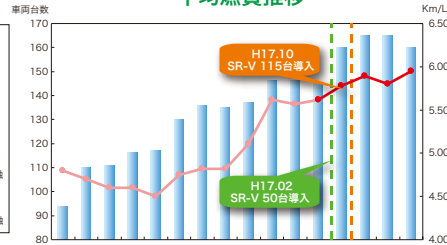
1 SR導入の効果

1. 事故大幅減少！
SRVideo導入前から約80%の減少
事故の内容も変化
2. 燃費向上
平均燃費 約5.3%上昇 約250万円のコスト削減に！
3. 消耗品費のコストダウンに成功！
導入前に比較し、約300万円の経費削減

事故発生原因



平均燃費推移



2 SR導入前からの取り組み

変動費1円削減運動とPM対策の実践事項

1988年より各車輦に年間目標燃費を設定し、半期ごとに目標達成車輦(乗務員)に表彰を実施。(事故発生者・車輦清掃不足者は対象外) 車輦のエアークリーナーの清掃は、乗務員自身がしていたとはいえ、整備担当の指示に従うものでした。PM対策として、ささやかなことでもできることを実践しよう、と車輦を美しく保つために、乗務員自身の意思で清掃することを開始。これだけのことで燃費が上昇しました。今では、乗務員が率先して清掃を行うので、黒ずんだ車輦は1台もありません。

「変動費1円削減運動」表彰内容

表彰者(延べ)	1550名
褒賞金額(累計)	875万円



全日本トラック協会発行「広報とらっく」環境対策実施事例集で紹介されました

3 SR導入時の諸問題

燃費に対する取り組みとして「変動費1円節減運動」を行ってきた14年目の2004年頃から、数値も頭打ち傾向になりつつありました。独自の取り組みに限界を感じはじめ、「さらなる品質向上のための方策は？」と社長や整備担当の悩みが膨らんできたのです。新たな施策として車載機器の導入を検討した結果、データ・テックのSRVideoと、デジタルタコグラフに絞って選定することになりました。

ここで問題に直面。乗務員から機器導入に対して不満が噴出。そこで、会社として推進したいのは「安全」であると粘り強く説得。安全運転の推進により、会社の利益が上がる。荷主様からの信頼が得られると次の仕事につながる。好循環が生まれる。もちろん、乗務員にもメリットがある、点数がよい乗務員を表彰しよう!とやる気にさせ、機器導入にふみきりました。点数上位者数人を対象とする予定が、今では点数上位者(各拠点の1/3)と前月からの点数の伸び幅が大きい者(点数上位者を除く)を合わせて、各拠点の半数になる人数を表彰しています。

4 SRVideo採用の決め手

SRVideo 採用の決め手となったのは、①点数が表示されること、②危険運転の映像が残ること。点数から日常の運行状況がより詳しくわかります。特にブレーキやハンドル操作の個人のクセがわかるので細かい指導をすることができるようになりました。映像からは、原因把握だけではなく、「～した方がいいね」といった、これからの運転改善に向けた指導を適切にできるうえ、それを乗務員全体で共有できるようになったことに、大きな意義を感じています。危ない運転の映像は、本社でまとめ、全拠点に提供し、乗務員全体はじめ新人教育にも有効に利用しています。

講演者インタビュー

もっと教えて! SR導入エピソード

Q1: SR導入前の準備は?

ドライバーが嫌がっていたのは、点数が出ることによって自分たちの給与に影響するのではないか、という懸念。SRVideoは、安全のために導入するもの、という理解を得られた後、デモ機を装着しました。撮影された画像や点数を見て、説明を受け、「これならいい」とドライバーも納得しました。

Q2: SRVideoを導入して変化はありましたか?

SRVideoに強い興味を持つようになりました。パソコン画面と1時間もにらめっこしているドライバーもいます。他の人にも見てもらったりして、アドバイスをし合う光景が見られます。危ない映像が出たときは、他のドライバーも寄ってきます。「なぜ、そんな運転をしたの?」と質問。パソコンの前で情報交換が始まっているのです。「指導」をするのではなく、ドライバーが自分たちで学び改善する姿勢が見られます。こんな風に使ってもらえるなんて、正直びっくりしていますよ。



SRVideo導入時の諸問題

乗務員からの声

1. なぜここまでする必要があるの?
2. 給料も点数評価制度になるの?
3. 監視が厳しくなる
4. 俺の運転は、安全運転だよ!
5. 法定速度も遵守しているよ!

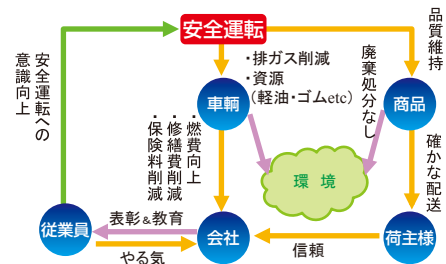
会社は何がしたいんだ!



乗務員に対する説明

監視や束縛が目的ではない!!
一番の目的は、「安全」

安全運転の副産物・・・?



まとめ 安全運転への意識向上にも効果!

表彰という方法でやる気を高めましたが、それによって安全への意識も確実に向上。SR導入前から長年にわたり、乗務員に走行距離と給油量を毎日記入させて、意識付けを図ってきました。SR導入後は、「今日は目標達成だった!」と乗務員から自発的な報告や、SRの映像を熱心に見る光景が見受けられるようになりました。SR導入から3年近く経過。確実に乗務員の安全運転に対する意識改革が進んでいます。荷主様・車輛・従業員・会社・環境に、より「やさしい」運転を提供し続けていきます。

Q3: エコ運転を意識させるために工夫していることは?

ドライバーには、①1日の走行距離②給油量を手書きで記入させています。どのような運転をしたら燃費がもっとよくなるのか、毎日、日報にドライバー自身が気づいた点を書き加えることで、燃費向上が実感できるものとなり、さらなる意欲が高まっていると感じています。

情報交換してくださる会社さん、ありませんか?!

燃料費の変動は激しいが、燃料は使い続けなければならないと考え、削減に努力しています。自社データだけで判断するのではなく、広く業界の皆様と燃費や車両についての情報交換をし、更なる向上ができればと思っています。燃費について、安全への取り組みなど、当社と情報交換をしてくださいませんか?

共感してくださる会社さん、ぜひ、ご連絡ください!お待ちしております。



【連絡先】

太陽運輸倉庫株式会社 総務部総務課 永池 伸博 宛

TEL: 099-281-1000

E-mail: information@ttw-net.com

東京空港交通株式会社

運行本部 運行管理部次長

伊東 祐一郎 様



会社概要

東京空港交通株式会社

会社名：東京空港交通株式会社

本社所在地：東京都中央区日本橋箱崎町22番1号 TEL：03-3665-7117

営業拠点：事業所（車庫）羽田（昭和島）・平和島・箱崎・成田・羽田空港内・成田空港内

設立：1954年12月16日

代表者：代表取締役社長 鈴木 光男

SR導入：合計 SRVideo 133台（2007年100台、2008年33台）



SRが日常運転、乗務員の状況の指標に!

1 SR導入の効果

1. 事故減少! (約48%減) ※
2. 燃費の向上! (約2.8%改善) ※

※SR搭載車両における
導入前後比較

詳細は、SRNEWS Vol.41をご覧ください

2 SRVideoを選んだ理由

運輸安全マネジメントについて、業界全体で取り組みが高まったこと、エコドライブの実践を積極的に進めようと、SR導入を検討。同業バス会社がSRを導入したことも刺激となり、機器の選定のきっかけに。日常から安全について取り組みができることを選定の基準として、次のような意図と目的を明確にしました。

1. 事故の記録を目的とするものではない。むしろ、どのような運転をしているのか過程を得られるもの
2. ヒヤリハットに有効に使えるもの
3. 日々の日常運転がわかるもの

SRの「運転診断結果」は、点数で結果が出るので乗務員がそのまま見てわかりやすく、ブレーキ、ハンドル操作などの各運転要素について細かなチャートで表示することもできるので好ましいものでした。EMSの助成対象であったことも決め手となり、SRを選びました。

SRと他社製品の比較

	セーフティレコーダ	他製品A	他製品B
ドライブレコーダのタイプ	画像・速度・回転数・位置・G値を記録	画像・速度・G値を記録	画像を記録
ソフトウェア	日常運転を分析・診断ソフトウェアあり	解析ソフトウェアあり	画像再生のみ
速度/エンジン回転数の取得	車体側から車速/回転パルスを取得 (or GPS位置データ)	車体側から車速パルス取得	なし
位置の取得	GPS	なし	なし
危険度合いの判断	各センサーが所定値を超過した時 (所定値は調整可能)	各センサーが所定値を超過した時 (所定値は調整可能)	各センサーが所定値を超過した時 (所定値は調整不可)
指導書	○	×	×
他社バス事業者導入例	○	△	×
EMS普及事業認定対象品	○	×	×

3 導入時の問題

導入にあたっては、当初は乗務員、労働組合からも反発がありましたが、「日々の運転から把握できる過程が大切であるということと、安全をめざす」という方向性は共通であることに同意を得て進めました。経営側には、SRさえ導入すれば事故がなくなるといったハードウェアに過度に期待している面があり、使う側のソフトウェアの大切さを理解してもらうことにも注力。回転パルス係数、G値など、バスにおける適正な設定基準値も模索。なにより、乗務員への指導については、話をするを基本にし、指導上の留意点を明確に打ち出しました。

知ってる? 豆知識

「リムジンバス」ってなあに?



昔は、空港への送迎車（ハイヤー）をリムジンで運行するサービスを行っていました。空港需要増から、当社が路線バスで初めて同様のサービスを始めたのが「リムジンバス」という言葉の由来です。そのため、「お客様の手を煩わせないサービス」がモットー。大型トランクを完備。乗務員や係員がお客様の手荷物を収納させていただいています。

4 SRから読み取れる傾向分析

連続無事故で30年以上も継続中の乗務員も複数いますが、大きな事故はなくても、軽微なものは残念ながら、やはりあります。ベテラン乗務員よりも、若い乗務員の方が点数はよいが、バックでこすってしまうなどの些細な事故を起こす傾向が高い。点数だけでは計れない経験値を感じるところです。しかし、ベテラン乗務員も忘れた頃に、事故を起こすことがある。それが怖い。SRの点数は、過信からくる漫然運転の状態が反映されていると感じています。

ベテラン乗務員でも、走り慣れないルートを走り、緊張すると、点数が悪くなります。点数にムラがある乗務員は、何か要因があることが多いです。このような状態のとき、事故を起こす可能性がある。SRの点数に、乗務員の状況が表れるのです。

導入から約2年。各車庫で、連続無事故、燃費向上の競争から、意識がさらに高まってきました。SRに対する興味も膨らみ、積極的な取り組みをしている車庫では、「指導書」の使い方も工夫しています。

連続無事故表彰

本年は10月3日に実施。

30年連続無事故10名をはじめ、計218名が表彰されました。

(連続無事故年数を概ね5年毎で表彰)

※無事故の基準は有事故の有無



代表受賞者の皆さん

5 生きた教材 SRVideo画像

SRVideoで撮影できた危ない運転の映像を画像集としてまとめ、研修に使っています。映像を見れば、乗務員たちには、それがどこかすぐにわかります。知っている場所、自分に関係がある景色だとわかるので、瞬時に興味をもちます。市販されている教育用の映像よりも、断然食いつきがよいのです。場所がわかると、次には、ここで何が起こるだろう、と憶測をし始めます。誘導する必要なく、自然に、自発的な「危険予知トレーニング」が始まるのです。それも、大変おもしろくなって参加してくれます。

新人研修にもこれらを使いますが、身近な実映像ということもあり、大きな影響を与える場合があります。そのため、「指導」には、細心の注意をはらっています。

首都高速道路で
ヒヤリッ!!SR画像
ピックアップ!!

状況は、飯倉付近で左から合流してきた乗用車が、右車線に移動したバスの前に更に続けて車線変更してきたものです。危険を予知する感受性＝「かもしれない」運転が事故を未然に防ぎます。

■ まとめ

SRを活用し始めて、漠然とした安全への考え方から乗務員の意識が確実に変化しています。SRの点数から把握できる状況を常に見ながら、乗務員を守り、お客様に快適な時間を提供し、他の車にも、道路にもやさしい運転をめざします。それによって、様々な費用削減につながることを実感しています。

※SR NEWS vol.41 でもご紹介しています。
ご参照くださいませ。

講演者インタビュー

もっと教えて! SR導入エピソード

Q: セイフティレコーダと初めて出会ったのは?

2004年に保険会社のリスクコンサルティング担当の方からの指摘がきっかけ。実は、飛び石が原因でフロントガラスが割れ、そのガラス代が高額に及んだのです。少しのヒビでもフロントガラスは全面交換。あるとき、ガラス代総額が数千万円にもなり、飛び石の原因究明をしてみようと保険会社が用意した機械を装着したのがセイフティレコーダとの最初の出会いです。速度や、Gの加減に変化のあるところ・・・画像の残っている下り坂で急ハンドルになる地点、というポイント箇所は、空港内に思い当たります。

そのとき様々なデータをいただくことができ、こんなことがわかるのかとびっくりし、これは使える!と感じました。

株式会社 データ・テック イベントスケジュール

その1 展示会情報

データ・テックも
展示を行います!

第3回 NASVA安全マネジメントセミナー

データ・テック社製ドライブレコーダ活用事例紹介 (有料)

会期: 2008年11月25日(火)

会場: 東京国際フォーラム(有楽町)

主催: 独立行政法人 自動車事故対策機構(NASVA)

内容: 右記の通り

データ・テック展示・紹介 見学無料、申込み不要

展示時間: 11:00~16:00

会場: 第2会場 ホールB5展示室

「事故防止の決め手がセイフティレコーダ!」
アサヒロジスティクス株式会社
安全品質管理部 部長 下田 哲雄 様

講演時間: 13:55~14:35

会場: 第2会場 ホールB5

参加料: お一人様 3,000円(先着120名様)

※事前申込みが必要です

お問い合わせ先:

NASVA安全マネジメントセミナー事務局

*お申込み方法は、
事務局までお問い合わせください

TEL: 03-6251-4341

ホームページ "http://www.nasva.go.jp/"

その2 SR定期セミナー、お客様交流会スケジュール

セミナー参加には、事前申込みが必要です

当社ではアフターフォローの一環として、SR定期セミナー、お客様交流会を開催しております。

SRを導入してくださったお客様を中心に、SRの活用事例紹介や、参加者同士で意見交換などを行っています。体験に基づくアドバイスなども数多くいただいております。

九州セミナー	2008年 11/14(金)	大分県トラック会館会議室(大分市)
東京セミナー	2008年 12/12(金)	データ・テック本社(大田区蒲田)
お客様交流会	2009年 2/6(金)	大田区産業プラザPiO(大田区蒲田)

※日程、会場等は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。

株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-8-7 K-1ビル8F
TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7063
http://www.datatec.co.jp